



防コミの歩き方

兵庫中学校との交流を通して (新潟県の中学校の先生から、お手紙が届きました)

3月11日～13日の日程で関西方面へ修学旅行に行きました。

修学旅行の目的の大きな柱は「震災学習」で、事前学習として糸魚川市でおこなっている防災について学んでいきました。

兵庫中学校では、生徒会役員9人が迎えてくれました。青海中学校からは2班10人が訪問しました。それぞれの自己紹介をおこなった後、生徒会活動の紹介をおこない、それぞれの中学校で力を入れていること、防災に対する取り組みを紹介したりしました。

兵庫中学校では、地域と連携して避難訓練をおこなっているということをお聞きし、今後、青海地域でも考えていきたいことだなあと感じました。実際の場面では、中学生は自分のことだけではなく、近くにいる小学生や幼稚園児、または高齢者を気遣いながら避難をするという立場になるからです。一人ひとりが社会の一員としての意識がもてるような手だてが必要だと改めて感じました。

校長先生から、阪神・淡路大震災の当時

の様子やその後の復興の様子などをお聞きすることができました。左の写真は当時、兵庫中学校が避難場所になっていたところを写しているものです。

また、兵庫消

防署の方から、被災した当時の心境などを教えていただきました。

火災の際に留意したことなどを教えていただき、つらい状況の中でも、任務を全う



するためにやり遂げた消防署の方々の思いをお聞きすることができました。

また、地域のコミュニティの方からもお話を聞きすることができました。震災当時の思いから復興の様子など、とても多くのことを教えていただくことができました。

他にも、東日本大震災が起こってからの兵庫中学校生徒会の取り組みを拝見することができました。実際に、全校生徒へ報告した映像を見せていただきました。

貴重な経験をさせていただきました。本当にありがとうございます。

(新潟県糸魚川市立青海中学校 古山教諭)

